

専門医制度委員会

担当理事：一瀬雅夫

副委員長：渋谷大助

顧問：有末太郎

委員：石川 勉、入口陽介、大西洋英、岡 政志、金岡 繁、草野 健、田中幸子、藤谷幹浩、細川 治、松田一夫

委員会開催：2回

1. 日本専門医機構動向について

- ・役員改選で新体制が発足した。
- ・2017年4月から新専門医制度の正式スタートを目指してきたが昨今の地域医療崩壊に対する関連団体からの強い懸念の声とともに機構のガバナンス不足に対する厳しい指摘、また、制度設計や運用に対する柔軟な対応を求める各学会からの強い要望等々を受け、施行開始を1年間延期することとなった。
- ・研修プログラム作成は学会主導とする方針である。
- ・消化器関連学会の3学会（消化器病学会、消化器内視鏡学会、肝臓学会）は連携しあつて専門医の教育にあたる旨、機構に声明文を提出した。

2. 新制度について

現行の認定制度に試験を導入し認定制度の充実を計る。新制度は従来の3区分ではなく全領域をカバーする認定医として「消化器がん検診総合認定医」と呼称する。なお、日本専門医機構に認定された場合には、「消化器がん検診専門医」と改称する。新制度規程は本委員会で作案した「専門医制度規程」を参考に認定委員会にて制定してもらいたい。

第1回試験を2017年度に予定していたが日本専門医機構の新専門医制度施行開始1年延期を受け、2018年度から実施することとなった。

なお、従来の認定制度は新制度発足後も更新を存続させる。

今後の課題・検討事項

1) 新制度

- ・認定委員会に規程細則を作成していただき会員に周知させる。
- ・過渡的措置の要件と実施期間
- ・更新条件（必要単位数、単位の内訳等）
- ・医師認定研修会と胃X線読影講習会の在り方

2) 従来の認定制度

- ・新規申請をいつまで可能とするか。
- ・終身の申請をいつまで実施するか。

3. 研修カリキュラムについて

他学会との差別化を図り、検診評価、精度管理に関わる検診本来の教育部分でのボリュームを増やすことを目的に、理事長、本委員会、疫学専門の先生方に研修カリキュラムの内容を担当分野毎再検討していただいた。